

大原台

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL:099-294-2311

FAX:099-294-2309

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310 (全国統一フリーダイヤル)

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (固定電話専用フリーダイヤル)

099-294-2200 (通話料有料)



夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり
～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～



想い「子供の『学び』と相似形」

鹿児島県総合教育センター
次長兼研修部長

内田 奈緒美



校長1年目の時、勤務校の教頭と一人の教員に、それぞれ県外の研究公開視察を提案したことがありました。別々に話し掛けたにも関わらず、返ってきた反応は全く同じで、目を輝かせながら「行ってもいいんですか？」でした。話を聞くと、二人とも「本当はもっと勉強したかったんです。」とのこと。視察後、それぞれが研修の成果を大いに還元し、校内研修が充実していったのは言うまでもありません。職員には常々、どんな背景・事情・課題があっても、子供たちは皆、「分かるようになりたい。」、「できるようにになりたい。」と思っているはずだから、子供の可能性を信じる姿勢を大事にしてほしいとお願いしていました。実はそれは、

教員にも当てはまるのかもしれませんが。様々な事情を抱えながら教員も皆、「もっと授業がうまくなりたい。」、「もっと専門性を高めたい。」と思っているに違いありません。資質・能力の育成が重視され、「学習観」の転換が迫られる今なら、尚更です。

個別最適な学び・協働的な学びの充実を通じて主体的・対話的で深い学びを実現することが、子供たちだけでなく、「新たな教員の学びの姿」として教員にも求められています。「子供の学びと教員の学びは『相似形』」とも言われています。教育センターでも「研修観」を転換し、「明日からすぐ実践したい。」、「学んで楽しい。」と感じてもらえるよう、様々な研修の提供に努めています。「学ぶ」ことを楽しいと思える教員と一緒にいてこそ、子供たちの学びは豊かになる。幸せにつながる。そう信じています。

「新たな教員の学びの姿」の実現



「そもそも・・・」から
考えてみましょう。



背 景

学校教育を取り巻く環境の変化

- ・ 複雑化・多様化する学校現場の課題
- ・ グローバル化、情報化の進展等、社会の急速な変化
- ・ 先行き不透明で予測困難な時代の到来

2020年代を通じて

「令和の日本型学校教育」の実現

「令和の日本型学校教育」において実現すべき教員の理想的な姿とは

- ◇ 環境の変化を前向きに受け止める姿
- ◇ 教職生涯を通じて探究心を持ち続ける姿
- ◇ 自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける姿
- ◇ 子供一人一人の学びを最大限に引き出そうとする姿
- ◇ 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす姿

そして理想的な姿を実現するために、新たな教員の学びの姿として、一人一人の教員等が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことが求められています。

教員等の資質の向上を図ることは、児童生徒等の教育を充実することに他ならない。児童生徒等の学びと教員等の学びは相似形となることが重要であり、個別最適な学びと協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、教員等にも求められており、児童生徒等の学びのロールモデルとなることが期待されています。

(※ 参考「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」)

○ 当センターでは、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る「学びの資源」(研修及びコンテンツ等)を提供します!

学びの資源

01

令和4年度 調査研究発表会

「1人1台端末時代における
新たな学校教育の在り方」

期 日：令和5年1月27日(金)

9:30 10:00 10:10 11:40 11:50 12:30 13:00 13:30 16:25									
全 体 会					休 憩		分 科 会		
全体会 受付	開会 行事	講演	準備	研究 概要	準備	分科会 受付	5つの分科会 から1つ選択		閉会 行事
30分	10分	90分	10分	40分		30分	175分		

全体会

【講演】

「今改めて問われる
ICT活用の在り方」

東北大学大学院

情報科学研究科

教授 堀田龍也 先生



中央教育審議会初等中等教育分科会・分科会長代理、教科書・教材・ソフトウェアの在り方WG・主査、教育データの利活用に関する有識者会議・座長等を歴任

【研究概要】

研究の趣旨と各分科会の概要を説明

【今年度の調査研究の主な特徴】

情報教育研修課が、令和2・3年度に「1人1台端末時代における授業デザイン『GIGAスクール構想』の実現による学びのイノベーション」を主題に行った調査研究を基にし、学校現場のニーズや県の教育的課題等も踏まえ、様々な学校の状況に寄り添った研究となるよう、24校の研究協力校と共に4つのテーマに基づいて実践研究を行いました。

【オンライン】

全日程
(全体会+分科会)
参加



【オンライン又は対面】

全体会のみ
参加



【オンライン】

分科会のみ
参加



「対面参加」の会場
県総合教育センター大原台講堂

分科会

選択の際、参考にしてください(他校種も申込可)。

A

授業デザイン

全校種共通

<研究主題>

子供の学びに着目し、ICTを効果的に活用した授業デザイン



会順	時間設定
① 開会行事・説明	13:30~13:55
② 事例発表Ⅰ	13:55~14:45
③ 事例発表Ⅱ	14:55~15:30
④ 研究協議・リフレクション	15:30~16:10
⑤ 閉会行事・アンケート記入	16:10~16:25

<概要>

GIGAスクール2年目。各教科等では、主体的・対話的で深い学びを実現するために、ICTをどのように活用すればよいのでしょうか？研究協力校の取組を踏まえて皆さんと検討しましょう。

<研究協力校>

A-1分科会

鹿児島市立山下小学校 始良市立帖佐小学校
垂水市立水之上小学校 鹿屋市立吾平中学校
県立松陽高等学校

A-2分科会

いちき串木野市立生福小学校
曾於市立末吉小学校 鹿児島市立吉田南中学校
霧島市立陵南中学校 出水市立鶴荘学園

B

遠隔授業

高等学校対象

<研究主題>

高等学校における遠隔授業の実践と研究－ICTの効果的な活用を通じた学びの充実を目指して－



会順	時間設定
① 開会行事・研究概要説明	13:30~13:55
② 先行事例発表	13:55~14:05
③ 調査研究結果発表	14:05~14:15
④ 実践研究発表	14:15~14:35
⑤ 研究協議・リフレクション①	14:35~14:55
⑥ 講話(学校教育ICT推進班)	15:10~15:50
⑦ 研究協議・リフレクション②	15:50~16:10
⑧ 閉会行事・アンケート記入	16:10~16:25

<概要>

高等学校におけるICTを活用した遠隔授業について、どのような活用の仕方があるのでしょうか？先行事例や研究協力校での実践事例を踏まえてよりよい最適解を皆さんと協議しましょう。

<研究協力校>

県立串木野高等学校 県立枕崎高等学校
県立大田高等学校 県立南大隅高等学校
県立古仁屋高等学校

C

特別支援教育

全校種共通

<研究主題>

障害のある児童生徒の学びの充実を図る研究－特別支援学校におけるICTの効果的な活用を通して－



会順	時間設定
① 開会行事・説明	13:30~13:55
② 実践発表・質疑応答	13:55~14:35
③ 研究協議・リフレクション	14:55~16:00
④ 閉会行事・アンケート記入	16:00~16:25

<概要>

障害のある児童生徒の学びを充実させるためにICTをどう効果的に活用し、情報活用能力をどのようにして育成していけばよいのでしょうか？研究協力校の実践を基に皆さんと語り合しましょう。

<研究協力校>

県立南薩養護学校 県立出水養護学校

D

生徒指導

全校種共通

<研究主題>

児童生徒理解に関する研究－ICTの効果的な活用を手掛かりとして－



会順	時間設定
① 開会行事・説明	13:30~13:45
② 研究の概要	13:45~14:00
③ 研究協力校の実践紹介・質疑応答	14:00~14:45
④ 研究協議・リフレクション	15:00~15:50
⑤ 指導助言	15:50~16:10
⑥ 閉会行事・アンケート記入	16:10~16:25

<概要>

生徒指導の基本は、児童生徒理解！よりの確な児童生徒理解やそれに基づく組織的な支援・校内支援体制の充実を図るために、ICTをどのように効果的に活用すればよいのでしょうか？研究協力校の実践を基に、皆さんと協議しましょう。

<研究協力校>

伊佐市立本城小学校 伊佐市立南永小学校
伊佐市立菱刈小学校 伊佐市立田中小学校
伊佐市立湯之尾小学校 伊佐市立菱刈中学校
県立伊佐農林高等学校

令和4年度調査研究発表会 詳細 →

<https://bit.ly/3TG1qA4>

※ 過年度の資料も閲覧できます。



02 希望研修

長期研修

1年間を通して各自の教育実践上の課題を踏まえた研究主題に取り組みます。併せて教育全般について様々な研修等を受講します。教員としての資質を高め、鹿児島県の実践力を身に付け、学校現場において即戦力となる教員を目指します。

概要及び研修内容の詳細

1年の流れ

4月	開会式 オリエンテーション	10月	研究中間発表会
5月	研究計画発表会	11月	アクティブ・ゼミ (教育の今日的課題に関する 討議や演習)【年4回】
6月	研究の進め方	12月	English Hour (英会話演習、異文化理解) 【通年】
7月	所員講話 (所員による専門分野等に関する講話や研修)【通年】	1月	研究発表会
8月	相互研修 (長期研修者が相互に研究内容を検討)【通年】	2月	修了式
9月		3月	



<https://bit.ly/3gnkIv5>

【長期研修者研究発表会】

期 日
令和5年2月16日(木)
申込締切
令和5年2月上旬予定
(案内は12月下旬送付予定)

高等学校等情報教育継続研修

急速に進展する情報化に対応した情報教育を推進するため、通年により継続的(金曜日)に専門的研修を行います。最新の情報や技術の習得により、学校現場の課題解決等を図ります。

【情報システムコース】

情報技術(マイコン制御やネットワーク技術を含む。)に関する新しい知識や技術を習得し、情報技術に関する科目や、実習・製図・課題研究等における指導力の向上を図る。
 <課題研究例>ArduinoやRaspberryPi, 各種センサ, アクチュエータ等による制御機器の製作

【情報コンテンツコース】

情報処理(プログラミングによる業務の自動化・効率化を含む。)に関する新しい知識や技術を習得し、各教科・科目等の指導力の向上や、技術を習得し、各学校における情報教育の推進を図る資質能力を身に付ける。
 <課題研究例>クラウドツールやマクロ等を活用した支援を要する児童生徒への学習教材の作成

【発表会・修了式】

令和5年2月1日(水)



概要及び年間計画等詳細
<https://bit.ly/3EB1vzi>

短期研修

「かごしま教員育成指標」を踏まえた「鹿児島県教員等研修計画」に基づき、学校教育における今日的課題や教職員の多様なニーズに応える各種講座を開設しています。

令和4年度実績

全155講座を実施(うち移動講座85講座)
 ※ GIGAスクール構想, 特別支援教育に関する講座は, 全ての教育事務所管内で実施

令和5年度申込期間

前期: 4月上旬
 後期: 6月上旬

中学校免許外教科担任教員等研修会

中学校において免許外教科等を担任している教員等に対して、当該教科についての教科指導に関する基礎的・実践的な研修を実施し、その指導力の向上を図ります。

令和5年度計画案

4月中旬にオンラインによる講義等(1日目)と6月以降に対面での実習等(2日目)による2部構成で実施予定

子供の明日を拓く生徒指導チーム体制構築プログラム

いじめや不登校等生徒指導上の諸課題への対応に係る教職員の資質向上や学校・家庭・専門家・関係機関が一体となった「チームとしての学校」の体制構築を図ります。

土曜講座

教職員の自主的・自発的な研修を促し、週休日における研修を希望する教職員のニーズに応えるとともに、学力向上など学校教育に関する今日的課題に対応した講座を開設しています。

03 指導資料



令和4年10月発行の指導資料を掲載しています。今回発行の指導資料から、**サマリー及びハッシュタグ(#)**を入れて、個の課題に応じて検索できるようにバージョンアップしています。日々の教科等の指導に役立つ情報に加えて、「学びのユニバーサルデザイン」、「アンガーマネジメント」などについての情報も得られます。ご活用ください。

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ (通巻第2139号) 指導資料 特別支援教育 第214号 鹿児島県総合教育センター 令和4年10月発行 対象 小学校 中学校 校種 高等学校 義務教育学校 特別支援学校 通常の学級における個別最適な学びを目指して「学びのユニバーサルデザイン」による授業改善 ●通常の学級に在籍する児童生徒は様々である。「学びのユニバーサルデザイン」の視点を活用することで、個に応じた学びの実現が可能となる。 ●教材のマイソートセットの転載後、全ての児童生徒の学びを充実させることができる。 ●教材のユニバーサルデザイン、教材の転載、教材の転載、教材の転載	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ (通巻第2143号) 指導資料 健康教育 第3号 鹿児島県総合教育センター 令和4年10月発行 対象 小学校 中学校 校種 義務教育学校 高等学校 特別支援学校 児童生徒のためのアンガーマネジメント ●アンガーマネジメントにより、自己を受容し自信をもつことで、児童生徒の自己肯定感を高めることが期待される。 ●特別活動において、アンガーマネジメントについて系統的に学習指導は高い。 ●毎日の感情のコントロール、対人関係、対人関係
--	---

「指導資料」へアクセス
 →

<https://bit.ly/3OgKHkb>



04 閲覧室



閲覧室には、所員おすすめの教育関係図書等が豊富に取り揃えてあります。「教育DX」、「一人一台端末を活用した授業づくり」についてなど最新の知見を得ることができます。学習机も常備し、静かな空間で学べます。県民どなたでも利用できますので、来所の際にはぜひお立ち寄りください。

貸出(2週間)を希望する場合は、企画課までご連絡ください。(企画課 099-294-2312)

《閲覧室の紹介》

閲覧室利用の仕方や教育関係図書を検索することができます。
 課題解消のヒントにお役立てください。



<https://bit.ly/3N6mGf9>